

準備するもの

●猫ちゃんのお気に入りのカリカリごはん(ごほうび)

猫ちゃんの健康に配慮して、1日のご飯の量から10~20%を取り分けてトレーニング用としてご使用してください。



注意すること

猫ちゃんの緊張のバロメーターに注目しながらトレーニングを行ってください。

●耳の向き

不安になると、耳が後ろに倒れていきます。



●「ごほうび」を食べられるか

不安になると、お気に入りのごはんであっても食べられなくなってしまいます。

トレーニング中に耳が後ろ向きに倒れていて、お気に入りのごはんを食べないときは、トレーニングが猫ちゃんにとって嫌なことになっている状態です。

その場合はすぐにトレーニングを中止してください。

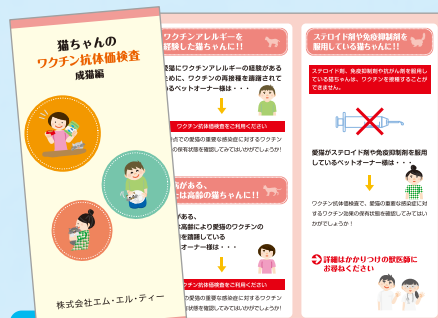
猫ちゃんは嫌なことに関する記憶力が良い動物といわれています。一度嫌なことと認識してしまうとトレーニングが進まなくなることがあります。

トレーニングを楽しい遊びと認識させるように、耳の向きと「ごほうび」を食べているかを常に注目して、トレーニングを進めてください。

◎「猫ちゃんとの楽しいゲームトレーニング」も必ず並行して行いましょう!



株式会社エム・エル・ティーでは、
猫コロナウイルス抗体検査、
猫のワクチン抗体価検査に関するリーフレットを
ご用意しております。



猫ちゃんのワクチン抗体価検査 成猫編



猫コロナウイルス抗体検査



子猫ちゃんのお通院トレーニング 全5種



動物病院名

リーフレットをご覧いただいている飼い主さまへ

このリーフレットで紹介しているトレーニングは、ちょっと難しい内容となっていると思います。まずは、猫ちゃんとの日々のトレーニング(遊び)を通じてコミュニケーションを取っていきましょう。そしていずれはこのリーフレットにあるような、生活に必要なトレーニングにも取り組んでみてください。「ゆっくり、焦らず、猫ちゃんペースで、お互いが楽しく」取り組むことが大切です。

監修 坂崎 清歌 先生 (Happy Cat)

トレーニングを進めるうえで参考になる情報を掲載!ぜひご覧ください。

▼坂崎 清歌 先生(Happy Cat)の

ホームページ
<https://happycat222.com/index.htm>

ブログ
<https://happycat222.com/blog/>

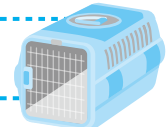


猫ちゃんと楽しく動物病院に行くために

子猫ちゃんのお通院トレーニング



キャリーバッグに慣れよう!



トレーニングは、猫ちゃんにとって、辛いこと嫌なことの強制になりませんか?

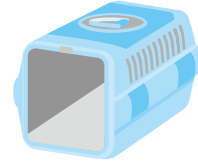
まずは「猫ちゃんとの楽しいゲームトレーニング」を読んで実践していただき、猫ちゃんが飼い主さまとトレーニングすることを楽しめるようになってから、「通院トレーニング」を始めてください。トレーニングは猫ちゃんと飼い主さまとの楽しい共同作業です。より一層飼い主さまとの「きずな」を深めていくことにつながるとともに、猫ちゃんの好奇心をくすぐる楽しい遊びになります。



※すでにキャリーバッグが苦手な猫ちゃんは、別メニューのトレーニングが必要になります。
ここではキャリーバッグが苦手でない(苦手になる前の)猫ちゃんを対象にしたトレーニングを説明します。

1. キャリーバッグを居心地の良い場所に!

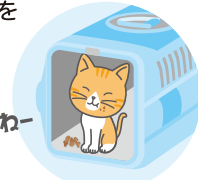
キャリーバッグの扉(天面、前面どちらでも)を開いて、部屋に置いておきましょう。



- 扉が突然閉まってしまうように注意してください。
- 猫ちゃんの匂いのついたタオルや毛布を入れておきましょう。
- キャリーバッグは、夏は涼しい場所に冬は暖かい場所に置くとういでしょう。

猫ちゃんの知らない間に「ごほうび」を仕込んでおきます。

- 食べているのを見かけたら、「ごほうび」を追加! 声掛けも忘れずに!
- 猫ちゃんが上半身だけ入って食べている場合は、「ごほうび」をだんだんと奥まで入れるようにしてください。



猫ちゃんの全身が入るようになったら、扉を瞬間閉めて、「ごほうび」をあげます。

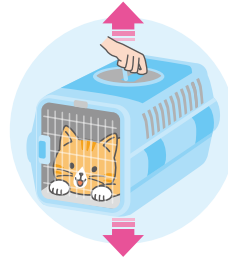
- 猫ちゃんが、出てこないで「ごほうび」を食べようなら、扉を閉めてすき間から「ごほうび」を追加してください。

CHECK! 耳の向きと「ごほうび」を食べているかに注目!

猫ちゃんが不安になっているようであれば、すぐに扉を開けましょう。扉を開けた状態で「ごほうび」を食べていて、扉を開けてもでてこないようであれば、「キャリーバッグ=居心地の良い場所」になっています。

2. キャリーバッグの揺れに慣れてもらう

猫ちゃんが入ったキャリーバッグを、1cm程度そっと持ち上げて、降ろしてください。

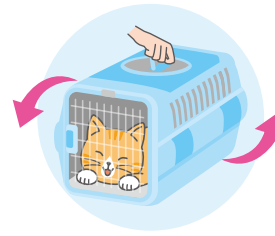


- すき間から「ごほうび」をあげてください。声掛けも忘れずに!

CHECK! 耳の向きと「ごほうび」を食べているかに注目!

猫ちゃんが不安になっているようであれば、「1.キャリーバッグを居心地の良い場所に!」のトレーニングに戻ってください。

次に猫ちゃんが入ったキャリーバッグを、そっと持ち上げて、90度向きを変えてから降ろしてください。



- すき間から「ごほうび」をあげてください。声掛けも忘れずに!

CHECK! 耳の向きと「ごほうび」を食べているかに注目!

猫ちゃんが不安になっているようであれば、「そっと持ち上げるトレーニング」または「1.キャリーバッグを居心地の良い場所に!」のトレーニングに戻ってください。
◎「持ち上げる」、「向きを変える」に慣れてきたら、最後は移動するトレーニングです。

3. キャリーバッグ(タクシー)でごはんを食べに行こう!

猫ちゃんのごはんの時間になったら、まずごはんの用意をしてください。あとはお皿を置くだけという状況の時にキャリーバッグに入ってもらい、ごはんの前に移動して扉を開け、ごはんを食べさせてあげましょう。

- 最初の移動は90度向きを変えるだけにして、少しずつ距離を伸ばしていきましょう。
- このトレーニングは、ごはんに限らず猫ちゃんの行きたいところがあれば、何でも応用可能です。「キャリーバッグで遊び場に行こう!」でも「キャリーバッグで窓から外を見に行こう!」でもかまいません。

キャリーバッグの取手に関するとても大事なお話

ハードキャリーで、取手が折り畳み型のキャリーバッグをお使いの飼い主さま。取手を収納する際、取手がキャリーバッグの天井部分に当たり、カタンと音がするのをご存じでしょうか?



飼い主さまにとってはカタンでも、小さな樹脂製のキャリーバッグの中にいる猫ちゃんにとってはものすごい音になります。カタンと音がする度に、猫ちゃんはびっくりして不安になり、それが原因でキャリーバッグが嫌いになるかもしれません。



取手には必ずハンカチ等を巻いてご使用ください。

想像してみてください、家の天井からものすごい音が響いてきたら…

猫ちゃんにとっての
楽しい遊び

猫ちゃんが楽しいと感じるのは、獲物を追いかける、獲物を捕まえるといった狩猟本能が刺激されることです。また、猫ちゃんは食べ物を「頑張った報酬」としてもらうほうが幸せに感じるということがわかっています。(コントラフリーローディング効果という現象です。)

「トレーニング = 何かを頑張ると食べ物を食べられる」
「狩り = 獲物を捕まえると食べ物を食べられる」

このように「トレーニング」と「狩り」には狩猟本能を刺激する共通点があります。猫ちゃんにとってのトレーニングは狩猟本能が刺激され、頑張った「ごほうび」としてオヤツをもらえる楽しい遊びのひとつなのです。

◎猫ちゃんが飼い主さまとのトレーニングを楽しむことを目的としたリーフレット「猫ちゃんとの楽しいトレーニング」をご覧ください。